

研修カリキュラム例

目的：組織マネジメント能力及び論理的思考能力を養成する

| 時間 | 項目 | 内容・詳細 |
|---------------------|--------------------------------|---|
| 9:10 ～ 10:30 | 管理するマネジメントから「発展させるマネジメント」へ | 現代の業務は単純作業ではなく、どのような職務においても「創造性」が求められている。そして「創造性」を発揮する条件として事務官自身が主体性をもってあたる必要がある。マネジメントとは主体性をもって働くメンバーによって組織を発展させることである。 |
| 10:40 ～ 12:00 | モチベーション・マネジメント | 主体性をもって「創造性」を発揮するためにはモチベーションの維持、向上が必要不可欠となる。モチベーションとはどのように生み出されるのか、またモチベーションを構成する心理的要素にはどのようなものがあるのか「モチベーションチェックテスト」にて理解する。 |
| 13:10 ～ 14:20 | モチベーションを維持する、そして向上させるコミュニケーション | 人間の心理は決して「自己完結」するものではなく、対人関係を主として様々な環境と影響しあっている。モチベーションに関しても、対人関係コミュニケーションに大きな影響が考えられる。ここではモチベーション維持、向上のためのコミュニケーションを習得する。 |
| 14:30 ～ 15:40 | 部下（メンバー）の問題を解決するコミュニケーション | 前向きな課題であるモチベーションアップの前に、管理・監督者に必要とされることは部下の問題解決における支援である。「傾聴技法」と「コーチング技法」を組み合わせ、実際の部下の問題解決を支援するコミュニケーションを習得する。 |
| 15:50 ～ 17:00 | 現場で活用できるロジカルシンキング | ロジカルシンキングは問題解決における効率を上げるだけではなく、対人関係の向上、メンタルヘルス問題の未然防止にも大きな効果を上げる。「すぐに活用できるロジカルシンキング」を習得して成果を達成するチームづくりを実現する。 |

担当予定講師：ビジネス心理コンサルティング（株）代表取締役 林 恭弘